

8月の歳時記(葉月 / August)

暦ではもう秋です!



★ 盆踊り 単なるサマーイベントではありません!

盆踊りはお盆にかえてきた祖霊を慰めるための行事です。踊念仏(民族芸能)が盂蘭盆(お盆)と結びつき、精霊を慰めたり送り出す為の行事となりました。(15日の晩盆踊り・16日に精霊送り)また、月明かりの下、人の交流を深め娯楽的な要素もあります。地域の結びつきを深め、帰省した人々の再会の場や、男女の出会いの場でもあり、盆踊りの歌詞に色恋ものやきわどい内容が多いのはそのため、人々は年に一度の盆踊りに様々な思いを託しました。

本来、盆踊りの晩(旧暦7月15日)は満月ですから、照明のない時代でも明るく過ごせ、月の引力の影響で人も高揚する為、盆踊りに最適だったのでしょう。

盆踊りは、祖霊になった人々との別れを惜しむ踊りであり、人の出会いや別れとともに過ぎ行く夏を惜しむ踊り。子供達は無邪気にはしゃぎ、大人達は様々な想いを胸

に募らせ踊ります。そのためでしょうか、楽しいだけではなくなぜか切なさを感じます。(私見です) 帰省先なら、お盆の締めくくりになくてはならない行事。家族揃ってぜひ参加したいですね。旅先では、その土地ならではの風情にひたって踊りましょう。段々と世知辛くなる世の中、昔からの良き風習は絶やしたくないものです。村興し町興しの為にも。



★ こよみ: 立秋(8)、山の日(11)、お盆・終戦記念日(15)、処暑(23)、地蔵盆(23,24)

1 春季健康診断結果を診る! 健康優良者(評価 A/B)は表彰に値する!

総受診者数: 282人 ※女性は相対的に健康率が高く、男性は年齢に関係なく有所見者が多い!

異常無(17%)	有所見/再検無(32%)	有所見/再検・治療・治療継続(51%)
----------	--------------	---------------------

有所見/再検者は早期に再検を受診し、改善を図りましょう。自分で意識し改善しない限りいつまでも悪循環ですよ!

- ① 高血圧 動脈硬化の元凶! I度【140-159/90-99】/II度【160-179/100-109】/III度【180↑/110↑】
- ② 肝機能 脂肪肝(γ-GTP/アルコールの過剰摂取)⇒肝炎⇒肝がん・肝硬変と知らぬ間に重篤な状況に。
- ③ 糖尿病 血糖・HbA1c値上昇。合併症による全身異常⇒網膜症、腎不全、脳卒中、心臓障害、下肢壊疽等。
- ④ 中性脂肪 エネルギーの消費残分を脂肪で蓄積。善玉HDLを減少・悪玉LDLを増加し、脂肪肝・動脈硬化の要因。
- ⑤ メタボ 内臓脂肪の蓄積と高血圧・高血糖・高脂質の何れか合併すると動脈硬化が急速に進行する。

※動脈硬化⇒血管の支配部分に障害⇒脳梗塞、心筋梗塞、大動脈瘤、腎不全等重篤な症状を発症!

2 熱中症を防ぐ!

一刻も速い気づき、対応が命を救う!

熱中症
注意

危険予防!

3つの熱中症予防を実施しよう

- 1 水分・塩分補給
- 2 適度な休憩
- 3 日よけ対策

1. 作業場・休憩所の環境改善 ⇒ 冷房・低温化・通風
2. 作業方法の改善 ⇒ 機械化・自動化・簡易化・服装
3. 適度な休憩 ⇒ 塩分・水分補給、WBGTの運用
4. 熱中症症状



I度: めまい・失神、筋肉痛・硬直(こむら返り)、大量の発汗
 II度: 頭痛、不快感、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感
 III度: 意識障害、けいれん、運動障害、高体温

5. 体調不調者の対応 迷わず救急車手配!
 上記症状や体調不調を訴えた者を発見したら、付添い、涼場へ移動(可能ならば)、冷却し、衣服を緩め、上司に緊急連絡!
 上司(付添者)は、即時救急車を手配し病院に搬送する。



3 事故災害多発傾向 不安全行動 しない・させない 見逃さない・放置しない!

4月: 3件、何れも充填工程でシリンダーに挟まれ、製缶機がト接触切傷、コンベアー斗缶搬送時口金で切傷。
 5月: 3件、階段前向き転落(コンピ/頭蓋骨等骨折)、機械移動時膝打撲、製品試作中粉塵着火事故。
 6月: 3件、有機化合物発火事故、排水ピット転落手首骨折(縄梯子破損)、階段降下時滑り腰部打撲。
未熟者には熟練者が見本、教育・訓練を繰り返し行い、熟練者は基本動作・決め事をしっかり守る事。

4 夏場の安全衛生管理 汗をかいたらこまめに着衣を着替しましょう。

食中毒予防... 冷蔵庫を過信しない。残り物の処分は確実に。
 感電注意... 汗による体の電気抵抗値が極端に減少。アースを確実に。
 体調に注意... 適度な冷房管理、冷たいものは控えめに。飲み過ぎない。



「危ない」と、言えないあなた、「危ないよ」!

心の健康「支えあい」 身体「自己管理」 全員参加の健康職場 **ご安全に!**